

WIND

風

地域の風を知る

風通りの良い家はそこにはご住宅の、向向きは地域や敷地、季節や時間によってなります。その地域の風をより設計に活かすことはとても重要なこと。地域によく吹く風のことを「卓越風」といいます。気象庁データを活用したり、その地域に住む方のお話を伺うなど、地域の風を事前調査します。



風をつかまえる工夫

風をつかまえるというと大きさですが、地域の風向きを考慮した窓や戸の配置や開閉によってなります。その地域の風をより設計に活かすことはとても重要なこと。地域によく吹く風のことを「卓越風」といいます。

PLAN

プラン

緑に囲まれた
陽射しを浴びるキッチン

普通キッチンのそばに大きな窓を設けることは少ないものです。

窓なりがちなキッチンに、シンクや調理器具の窓位置を工夫することで、大きめの窓をとることを可能にしました。対面キッチンで家族と会話しながらお料理する時も、窓から明るい陽射しと緑が見え、より美味しくつくれそう。子どもたちも楽しく食べられること間違いなしです。

庭という
もうひとつつのリビング

シンボルツリーは何にしようか。やっぱり地域の緑を活かした木がいいと思う。タイムやレンガパークのハーブ育てましょう。友人を招いてのガーデンパーティーに育てたハーブを添えてみたり。鳥や蝶も客人としてやってくる庭になるかも。



パンtryと勝手口

パンtryに勝手口があるのも夷才さんには嬉しいこと。生のミ等はパンtryから直接屋外へ置くことができます。扉を取納のひとつと言えるかもしれません。

和室は超多目的空間

いつものリビングから気分を変えて食事をしたり、ちょっとひと眠りしたり、モノづくりしたり、子どもたちと一緒に工事を広げたり…。使い道を思い浮かべていたら楽しすぎました。畳の部屋で落ち着いた気持ちになれるのは日本人だからでしょう。広い和室も良いけれど、ほどよく狭い畳部屋も落ち着く空間なのです。

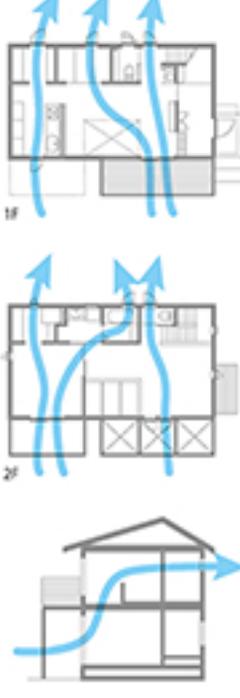


和室小上がり下収納

和室を一段上げることで、腰掛けの高さを確保しながら畳下のスペースを効率的に収納することができます。ゲスト用の椅子やカットを入れたり、リビングに使うから子どものおもちゃを入れたり。和室下って、何かと便利な収納場所なのです。

自然の風の流れを
つくる

風はまっすぐ通ります。壁にぶつかれば、曲がってさらに通りやすくなります。その習性を理解して風の入口をつくる設計が必要です。

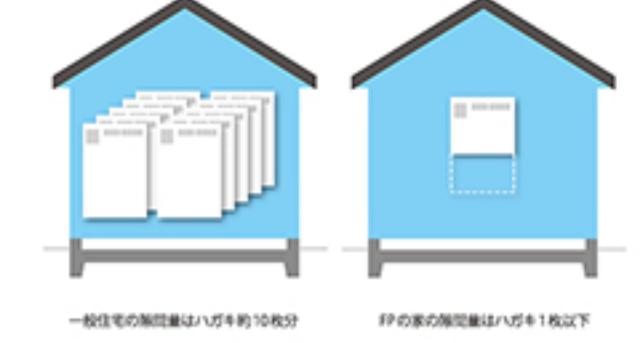


風をコントロールするには高気密化が条件

第三種換気システムを採用するには、高い気密レベルが求められます。開間相当面積1.00cm²/m²以下でないと計算した換気量を確保できず、設計した風の経路を通りこなすことが出来ません。

夏の夜、春の季節の良い時期には、窓を開けて自然の風を楽しめます。でも、冬はやはり終日、年間を通して多くの時間は窓を閉め切り、熱損失を最小限に防ぐのが高断熱・高気密住宅の基本。

換気システムは、健康で快適な暮らしをもたらしてくれる、重要な要素なのです。



計画換気とは、設計、施工、実測、調整するこだわり

第三種換気システムは自らが設計、施工し、風を実測して調整する。今までならしない快速で健康的に安心して暮らすことができないといふ私たちは考えています。家づくりの者が責任を持つてくだらんべき、譲れない部分です。



HEAT

熱

太陽熱をコントロールして
エコな暮らしを

太陽の位置と高度、日射角度は地域によつて異なります。地域の日射条件を考慮し、建物の向きや間取り、窓の大きさや高さを設計します。夏の日射は遮蔽し、冬季の日射は多く取り込む。冷暖房費を最小限に抑える限りにも人にも優しいエコな暮らしを実現します。

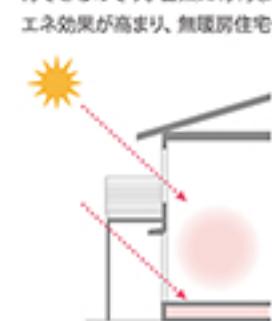
底、グリーンカーテン、
オーニングによる日射遮蔽

夏は、日射をいかに遮蔽するかが快速に過ぎるポイントです。軒の出や、バルコニー、庇、オーニング等で日射を遮る。見た目に優しくなれば植物を使うことで季節感を感じながら、エコな暮らしを実現します。



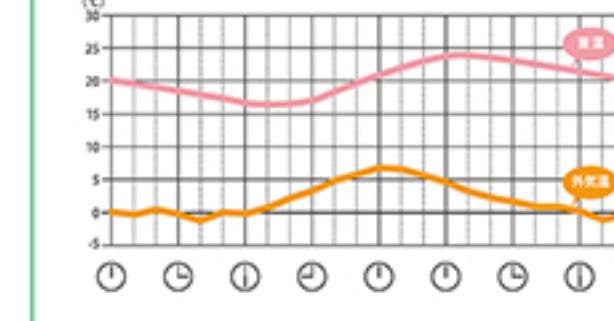
蓄熱する家は快適な家

冬は多くの日射を日中に室内に入れ込み、床や壁といった材料に蓄熱されることで暖かさを保証。わずかな暖房の補助で24時間快適に過ごすことができます。素材により熱を蓄える量や滞りは異なります。たとえばコンクリートの土間には、より長い蓄熱時間が期待できます。蓄熱に必要な熱を多く使うことで省エネ効果があり、無暖房住宅も夢ではありません。



蓄熱を考慮した室温変化

これまで室内温度変化をシミュレーションする場合には、熱損失係数(?)からのみ算出されていました。パッシブデザイン住宅を研究する野池政史氏が、蓄熱量を考慮した室内温度変化シミュレーションデータを作製。より具体的なエコな暮らしのシミュレーションが可能になりました。

明るく風通しの良い
ウォークインクローゼット

洋服や小物を収納するウォークインクローゼット。いつもお洋服からなかなか登場機会のない洋服まで、どれもお気に入りだから大切にしたい。明るく風通しが良い方が洋服たちも嬉しいはず。押入れが暗いものって誰が決めたんだでしょう。



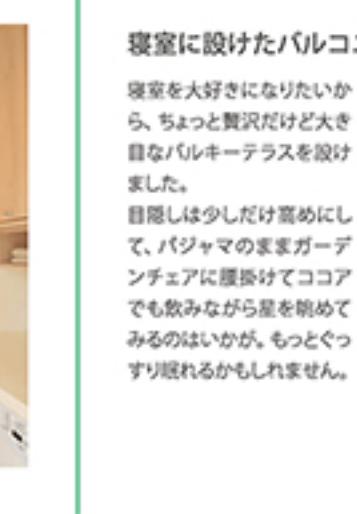
奥さまの笑顔を輝かせる家事動線

リッチな部分だけではなく、洗面脱衣室も2階になると、これは洗濯機も2階。家族分の洗濯物を1階からペッタリ運ぶのはけっこう重労働。毎日のことで当面の間は、それでも解消されるとなると、奥さまにとってはとても嬉しいですね。



2階浴室でホテルライクな暮らしを

浴室は1階北側にあるものと思い込んでいませんか? 実は浴室を2階に持ってくると暮らしもちょっと素敵になります。人目を気にせず窓を開けて露天風呂気分を味わったり、寒い日には、寝入る前にベードを抜け出してもう一風呂…なんてこともできる。ホテルライクなちょうどリッチな気分に。



寝室に設けたバルコニーテラスの意味



家がシアターになる

テレビを見る時間が少なくなったといって、やっぱりテレビは映画の中心。リビング、ダイニング、キッチンからも座席みんなで同じテレビを見られる、おのと会話を弾みます。スクリーンを隠してプロジェクターでお気に入りの映画を映してみたり、運動会で撮影したビデオを渡せば、お子さんの主役気分もきっと盛り上がるでしょう。



「作って良かった」と実感できる洗面台

広い土間玄関の収納前の入口からあがったすり替わ洗面台を設きました。外遊びから帰ってきた子どもたちが、まずここで洗いこの手を洗い、うがいをする習慣づけに。家の周りをキレイに保つておしゃまに嬉しいのはもちろん、家族の健康にも一役買っています。



HEALTH

健康

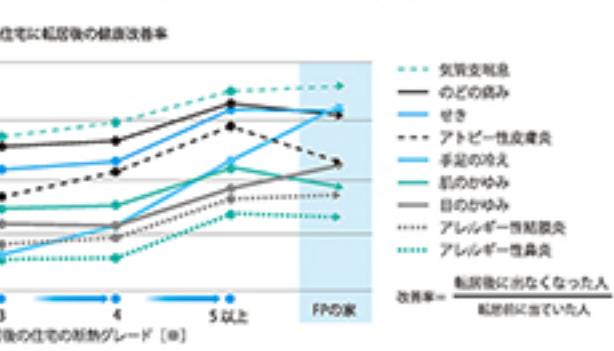
結露は健康を阻害する
最大の敵

結露

家の最大の敵は結露。結露は、空気中に含まれる水蒸気が室内及び部屋間等の温度差により、飽和点に達することで露となる状態をします。冬の間に露水がついていたり結露が見える目立つ結露と、外部と室内の温度差から壁の中でもじる結露とがあり、結露が生じると、木部がカビて腐ったり、ダニが発生・繁殖が室内空気中に浮遊し、健康を阻害するフレルゲンの元にもなります。室内の温度差のないFPの家では、壁体内結露50年を保証しています。

高断熱・高気密住宅が
人を健康にするというデータ

FPグループでは、「健康維持増進住宅研究会」委員である近畿大学の岩前萬教授の協力のもと、「FPの家」に住まわれる1,123世帯4,227人のお客様を対象として健康改善効果に関するアンケートを実施し、下記のような結果が得られました。

FPの家だから実現する
真に快適な暮らし

高断熱・高気密住宅の「オノニア」として誕生から四半世紀以上が経つFPの家。私たちFPグループは、断熱、気密、蓄熱、保温といった住宅性能を常に追求し努力、学び続け、施工技術を研鑽してきました。この「じょうきょう」があるからこそ、今ひらく知識が進化をしています。「COCOCALA」は、ここから始めるFPグループの新しい提案です。私たちは、快適で健康的な暮らしをこれからも提案してまいります。

